

シラバス参照

講義名	A I 活用入門 A 201		
開講責任部署	大阪学院大学		
講義開講時期	秋学期第1ターム	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	7.00
開講年度	2026		
配当年次	1		
曜日講時	水3		

担当教員

氏名

◎ 白川 雄三

講義(演習)テーマ	OGU数理・データサイエンス・AI教育プログラム科目 AIとデータサイエンスを理解し活用する
講義(演習)概要	本講義の目的は、AIを活用できる人材として社会で活躍するための基礎的な知識を修得することです。そして、Society5.0などの産業構造の変化や、今後必要とされるスキルなど社会背景に関する知識、AI技術に関する基礎知識、AIを活用するために必要な基礎知識を学び、修得します。
卒業認定・学位授与の方針との関連	養成する能力 ◎社会人として必要な素養と豊かな人間性を身につけている。 ◎獲得した知識・技能を活用する態度や行動力を身につけている。 ※◎、○、△は関連性を示す。
到達目標	1. AIを活用できる人材として社会で活躍するための基礎的な知識を修得すること。 2. Society5.0などの産業構造の変化や、今後必要とされるスキルなど社会背景に関する知識を修得すること。 3. AI技術に関する基礎知識、AIを活用するために必要な基礎知識を修得すること。

講義スケジュール(授業計画)

回	内容
第1回	AIリテラシーとは
第2回	社会でどのような変化が起きているか
第3回	社会でどのようなデータが活用されているか
第4回	データ・AIを何に使えるか
第5回	データ・AIの技術
第6回	データを読み、説明し、扱う 実際のデータを分析する。吹田市 行政経営部企画財政室 総合計画グループが本学で行ったアンケート調査のデータを使い、データ分析を行う。吹田市が現在直面する課題解決に資するため、データサイエンス教育の一環として、本学学生の吹田に関する意識を実際のデータに用いて分析を行い、吹田市の行政課題解決の一助とする。
第7回	データ・AIを扱うときに注意すること

評価基準・方法	定期試験：65% レポート・小テスト：35%（※レポートは点検後、返却します。） その他：0% 毎回の授業時に小テストを行う。OGU-Caddieで説明を行う。
授業外学習の指示	・次回の授業につながるように、課題や予習・復習（各2時間）に取り組んでください。 ・OGU-Caddieに、「東京大学 数理・情報教育研究センター」の作成した数理・データサイエンス・AI教育プログラム補助資料をアップロードするので、予習・復習に活用してください。

履修上の注意	<p>(2022年度以前の入学者対象) 「AI活用入門B」の履修を強くおすすめします。また、「AI活用入門A」と「AI活用入門B」の両方に合格した者が履修できる「AI入門演習」も積極的に履修してください。</p> <p>(2023年度以降の入学者対象) 「AI活用入門B」の履修を強くおすすめします。 この科目は「OGU数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の科目です。「AI活用入門A」と「AI活用入門B」の両方を合格した者には、「OGU数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の修了証を発行します。 また、「AI活用入門A」と「AI活用入門B」の両方に合格した者が履修できる「AI入門演習」も積極的に履修してください。</p> <p>ChatGPTなどの生成AIの利用については公式ホームページを確認すること。</p>
オフィスアワー	4月に学生ホームページに掲載する。
教科書	岡嶋裕史、吉田雅裕著『(改訂新版)はじめてのAIリテラシー』技術評論社 (ISBN : 9784297144074)
参考文献	授業中に指示する。
関連URL	授業中に指示する。
担当者からの一言	<ul style="list-style-type: none"> ・出席を重視します。 ・AIスキルは、今後の社会人の必須スキルです。できる限り、身につけてください。 ・(2023年度以降の入学者対象) 「AI活用入門A」、「AI活用入門B」で基礎を身につけた学生には、実践的な内容に取り組む「AI入門演習」に加え、さらに発展的な学修として「OGU数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」を用意しています。応用基礎レベルでは、「データサイエンス基礎」と「AI活用基礎」を通じて、AIやデータを大学での学修や将来の進路に主体的に活用できる力を養います。 ・授業についての連絡は、OGU-Caddieの「掲示板」、「お知らせ発信」機能を使用します。



✕ ウィンドウを閉じる